

○ 現行計画の進捗状況について（施策・事業一覧）

柱	基本施策	施策	事業	重点	評価指標
基盤づくり	自転車ネットワーク整備プロジェクト	生活利用自転車ネットワーク整備	生活利用自転車ネットワーク路線の自転車走行空間整備	◎	【活動指標】 自転車走行空間の整備延長 【成果指標】 自転車走行空間整備の満足度
		サイクリングロード・サイクリングルート整備	サイクリングロード・サイクリングルート路線の整備	◎	
		自転車ネットワーク維持管理	既整備路線における自転車走行空間の維持管理		
			走行支障物件の撤去指導		
	公共交通連携プロジェクト	鉄道駅周辺駐輪場の適切な管理運営・再整備	鉄道駅周辺駐輪場の適切な管理運営及び再整備		【活動指標】 交通結節点の駐輪場整備箇所数 【成果指標】 市内駐輪場の利用者数
		LRT停留場付近の駐輪場整備	LRTトランジットセンター、停留場付近への駐輪場整備	◎	
		バス停留所付近の駐輪場整備	主要なバス停付近への駐輪場整備	◎	
		自転車放置防止対策	鉄道駅周辺等の放置自転車対策		
		中心市街地の駐輪環境整備	駐輪スポットの整備		
			民間事業者による適切な駐輪場の確保		
		駐輪場等へのICカード導入	駐輪場やシェアサイクル(レンタサイクル)へのICカード導入	◎	
		シェアサイクル(レンタサイクル)の充実	レンタサイクルの適切な管理運営及びシェアサイクル化の検討・実施	◎	
			観光拠点等へのシェアサイクル(レンタサイクル)導入検討・実施	◎	

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

基盤づくり

自転車ネットワーク整備プロジェクト

生活利用自転車ネットワーク路線の
自転車走行空間整備

自転車専用通行帯や矢羽根型路面標示などを整備し、安全性の高い自転車走行環境を創出している。

▶ 自転車専用通行帯



▶ 矢羽根型路面標示



【自転車走行空間の整備状況】

整備手法	市道	県道※	国道※	合計
矢羽根型路面標示	43.4km	14.6km	19.0km	77.0km
自転車専用通行帯	30.6km	7.1km	0.6km	38.3km

※県道、国道は令和6年3月末の実績

サイクリングロード・
サイクリングルート路線の整備

・河川管理者と連携しながら計画的に整備を進めている。
・R8年度に田川サイクリングロードの整備が完了する予定

▶ 車止めと案内標識



▶ 舗装整備と路面標示



【市内サイクリングロードの整備状況】

河川名	整備済延長
鬼怒川	15.0km (県道12km + 市道3km)
田川	21.3km (うち一般道活用区間5.8km)
山田川	11.2km

○ 現行計画の進捗状況について（評価指標）

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

基盤づくり

基本施策	活動指標	成果指標	評価																																																	
自転車 ネットワーク 整備プロジェクト	自転車走行空間の整備延長【評価：◎】	自転車走行空間整備の満足度【評価：△】	・年度ごとの目標延長を上回る整備を進めており、市内の自転車専用通行帯規制延長については全国でもトップクラスとなるなど、自転車を安全・快適に利用できる走行環境整備の充実を図った。 ・「自転車走行空間整備の満足度」は、中間目標値27.7%に対し、20.0%と低調しており、整備延長に満足度が追いついていない状況にある。 ・市民目線の評価としては、量だけでなく、質（安全性・連続性・快適性等）も重視する傾向にあると考えられる。																																																	
	<table><caption>自転車走行空間の整備延長 (単位: km)</caption><tr><th>調査点</th><th>自転車専用通行帯</th><th>その他</th><th>合計</th><th>目標値</th></tr><tr><td>R2 (基準値)</td><td>20.2</td><td>6.8</td><td>27.0</td><td>27.0</td></tr><tr><td>R3</td><td>23.0</td><td>6.8</td><td>29.8</td><td>29.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>24.4</td><td>6.8</td><td>31.2</td><td>31.2</td></tr><tr><td>R5</td><td>27.4</td><td>6.8</td><td>34.2</td><td>34.2</td></tr><tr><td>R6</td><td>30.5</td><td>6.8</td><td>37.3</td><td>37.3</td></tr><tr><td>R7</td><td>30.5</td><td>6.8</td><td>37.3</td><td>37.3</td></tr></table>	調査点		自転車専用通行帯	その他	合計	目標値	R2 (基準値)	20.2	6.8	27.0	27.0	R3	23.0	6.8	29.8	29.8	R4	24.4	6.8	31.2	31.2	R5	27.4	6.8	34.2	34.2	R6	30.5	6.8	37.3	37.3	R7	30.5	6.8	37.3	37.3	<table><caption>自転車走行空間整備の満足度 (単位: %)</caption><tr><th>調査点</th><th>実績値</th><th>中間目標値</th><th>将来目標値</th></tr><tr><td>R1調査</td><td>19.3</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R7調査</td><td>20.0</td><td>27.7</td><td>-</td></tr><tr><td>R12時点</td><td>-</td><td>-</td><td>36.0</td></tr></table>	調査点	実績値	中間目標値	将来目標値	R1調査	19.3	-	-	R7調査	20.0	27.7	-	R12時点	-
調査点	自転車専用通行帯	その他	合計	目標値																																																
R2 (基準値)	20.2	6.8	27.0	27.0																																																
R3	23.0	6.8	29.8	29.8																																																
R4	24.4	6.8	31.2	31.2																																																
R5	27.4	6.8	34.2	34.2																																																
R6	30.5	6.8	37.3	37.3																																																
R7	30.5	6.8	37.3	37.3																																																
調査点	実績値	中間目標値	将来目標値																																																	
R1調査	19.3	-	-																																																	
R7調査	20.0	27.7	-																																																	
R12時点	-	-	36.0																																																	

事業実施上の課題

令和8年4月の改正道路交通法施行に向けた自転車走行空間の良好な視認性の確保



路面標示の劣化が著しい路線については、視認性の低下などにより、自転車利用者が本来通行すべき場所を認識しにくい状況にある。

改正道路交通法施行に向けて、自転車利用者が誤った認識を持たず、交通ルールに則って、本来通行すべき場所を正しく通行できる走行環境とする必要がある。

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

基盤づくり

公共交通連携プロジェクト

ライトライン沿線TC、
停留場付近への駐輪場整備

- ・ライトラインの開業に合わせて停留場付近に駐輪場を整備した。
- ・利用率の高い駐輪場への増設整備を実施した。

停留場全15箇所
うち12箇所に
駐輪場を整備

▶ 清原TC駐輪場



▶ 平石TC駐輪場



主要なバス停付近への
駐輪場整備

地域の拠点となる地区市民センターや人口が集積する幹線バス路線沿線など、主要なバス停留所付近に駐輪場を整備している。

▶ 雀宮地区市民センター



▶ 瑞穂野団地バス停駐輪場



【バス停付近駐輪場の整備状況】

整備主体	箇所数
市	18か所（288台）
県	16か所（236台）
バス事業者	6か所（165台）
合計	40か所（689台）

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

基盤づくり

公共交通連携プロジェクト

駐輪場やシェアサイクルへの
ICカード導入

市営駐輪場に交通系ICカード「totra」等のキャッシュレス決済を導入している。

レンタサイクルの適切な管理運営
及びシェアサイクル化の検討・実施

中心市街地を基本にシェアリングモビリティを導入しており、事業の実施状況を
踏まえ、中心市街地の駐輪場5箇所において、レンタサイクル事業を廃止した。

観光拠点等へのシェアサイクル導入検討・実施

大谷地域において、地域内の周遊促進のため、シェアサイクルの実証
実験を実施した。



市営駐輪場9箇所へ
キャッシュレス
決済機導入



シェアリングモビリティの導入



【シェアリングモビリティの導入状況】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電動アシスト 自転車	50台	100台	307台
電動キック ボード	30台	60台	70台
合計	80台	160台	377台
ポート数	9か所	37か所	132か所



○ 現行計画の進捗状況について（評価指標）

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

基盤づくり

基本施策	活動指標	成果指標	評価																																																										
公共交通連携 プロジェクト	交通結節点の駐輪場整備箇所数【評価：○】	市内駐輪場の利用者数【評価：○】	・市営駐輪場及びライトライン駐輪場の利用者数については、概ね計画どおりの実績となっている。 ・ライトライン開業に合わせた駐輪場の整備などの自転車と公共交通の相互の利用促進や市街地部駐輪場へのキャッシュレス決済などの利便性向上に取り組んだことで、コロナ禍で減少した利用者数は回復傾向にあり、特に<u>ライトライン駐輪場については、大きく増加傾向にある。</u> ・<u>利用者満足度などの駐輪場整備による効果</u>については、支援業務委託の中で調査する。																																																										
	<table><caption>交通結節点の駐輪場整備箇所数 (箇所)</caption><tr><th>区画</th><th>R2 (基準値)</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>鉄道駅周辺</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>バス停留所周辺</td><td>35</td><td>37</td><td>37</td><td>38</td><td>40</td><td>77</td></tr><tr><td>LRT停留場周辺</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td><td>11</td><td>12</td><td>-</td></tr><tr><td>中間目標値</td><td>-</td><td>57</td><td>62</td><td>67</td><td>72</td><td>-</td></tr></table>	区画	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6	R7	鉄道駅周辺	18	18	18	18	18	18	バス停留所周辺	35	37	37	38	40	77	LRT停留場周辺	1	1	5	11	12	-	中間目標値	-	57	62	67	72	-	<table><caption>市内駐輪場の利用者数 (人/日)</caption><tr><th>区画</th><th>R1 (基準値)</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6 (目標値)</th><th>R7 (目標値)</th></tr><tr><td>市営駐輪場</td><td>8,023</td><td>6,121</td><td>7,095</td><td>7,017</td><td>7,874</td><td>7,895</td><td>8,188</td></tr><tr><td>サイクル&バスライド</td><td>413</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>283</td><td>557</td><td>595</td></tr></table>	区画	R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)	R7 (目標値)	市営駐輪場	8,023	6,121	7,095	7,017	7,874	7,895	8,188	サイクル&バスライド	413	-	-	-	283	557	595
区画	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6	R7																																																							
鉄道駅周辺	18	18	18	18	18	18																																																							
バス停留所周辺	35	37	37	38	40	77																																																							
LRT停留場周辺	1	1	5	11	12	-																																																							
中間目標値	-	57	62	67	72	-																																																							
区画	R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)	R7 (目標値)																																																						
市営駐輪場	8,023	6,121	7,095	7,017	7,874	7,895	8,188																																																						
サイクル&バスライド	413	-	-	-	283	557	595																																																						

事業実施上の課題

既存駐輪場の利便性向上(収容台数を超えた駐輪場の増設など)

ゆいの杜西駐輪場



宇都宮大学陽東キャンパス駐輪場



ライトライン駐輪場利用状況については、開業から現在まで、増加傾向にあり、特に利用率が高い駐輪場については、収容台数を超えて駐輪されている。

引き続き各駐輪場の利用状況を調査し、ニーズが高い駐輪場については、ゆとりある収容台数の確保と利便性の向上に取り組む必要がある。

○ 現行計画の進捗状況について（施策・事業一覧）

柱	基本施策	施策	事業	重点	評価指標
意識向上	安全・安心プロジェクト	自転車ルールの周知啓発	学校やプロスポーツチーム, 民間企業等と連携した交通安全教室の開催	◎	【活動指標】 小・中・高校生や高齢者を対象とした体験型自転車安全利用教室の開催回数 【成果指標】 自転車に関連する交通事故件数
			自転車安全利用のための街頭指導の実施		
		ヘルメット着用・自転車保険加入促進	自転車ヘルメット着用の周知・啓発		
			自転車損害賠償責任保険等の周知・啓発		
	生活利用・健康プロジェクト	災害時における自転車活用	災害対応職員の参集手段としての自転車利用		【活動指標】 健康ポイント事業登録者における自転車の1日あたり平均走行距離 【成果指標】 健康のために意識して身体を動かす成人の割合
		多様な自転車の利用促進	多様な自転車の利用促進		
		自転車通勤の促進	企業等と連携した自転車通勤の促進	◎	
		自転車を活用した市民の健康増進	健康ポイント事業等を活用した自転車による健康増進の促進		
			プロスポーツチーム等と連携した介護予防教室の開催		

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

意識向上

安全・安心プロジェクト

学校や民間企業等と連携した交通安全教室の開催

- ・小・中・高校生を対象に交通ルールや自転車の正しい乗り方などの学んでもらう交通安全教室を開催している。
- ・高齢者を対象に警察と連携して自転車シミュレーターを活用した交通安全イベントを開催している。

▶ 小学生向け交通安全教室



▶ ブリッツェンと連携した交通安全教室



▶ 高齢者向け交通安全イベント



▶ 交通安全教室でのスクエアードストレイト方式による事故の再現



【交通安全教室等の開催状況】

開催内容	R 3	R 4	R 5	R 6
交通安全教室	101回	115回	111回	105回
交通安全イベント	5回	12回	10回	10回

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

基本施策

活動指標

成果指標

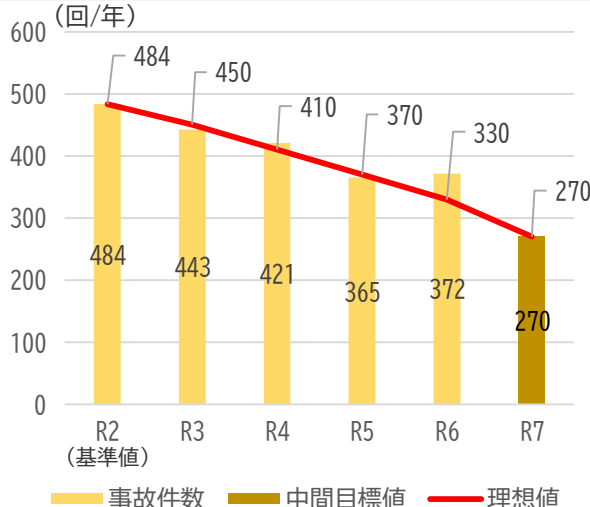
評価

安全・安心
プロジェクト

体験型自転車安全利用教室の開催回数 【評価：◎】

年度	交通安全教室+交通安全イベント (回/年)	中間目標値 (回/年)
R2	91	-
R3	106	-
R4	127	-
R5	121	-
R6	115	-
R7	114	114

自転車に関する事故発生件数 【評価：○】



- ・幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の実施や警察と連携した自転車安全利用動画などの教育資材の提供によるヘルメット着用への徹底や交通ルールの遵守についての高校生への働きかけにより、交通事故件数は近年、減少傾向にあったが、**令和6年は前年に比べ増加**した。
- ・世代別では、高校生が関連する事故が前年に比べ最も増加しており、高校生側が自動車等に巻き込まれる**高校生側に法令違反のない事故が増加**した。

評価に基づく課題

・各種交通安全教室や街頭指導、各高校への働きかけなどを継続することで、幅広い年齢層に対して、自転車利用者はもとより、自転車利用者以外にも交通ルールやマナーの周知を図っていく必要がある。

事業実施上の課題

令和8年4月の改正道路交通法施行に向けた交通ルールや制度の周知

《交通反則切符の対象となる違反事例》

- 信号無視 ●指定場所一時不停止
- 通行区分違反（右側通行や歩道通行 など）
- 通行禁止違反（歩行者専用道路の通行など）
- 遮断踏切立入り
- 歩道における通行方法違反
（徐行義務（6km以内）違反など）
- 制動装置不良自転車運転 ●携帯電話使用等
- 公安委員会遵守事項違反（傘差し）など

令和7年4月に高校生に配布したチラシ

[illegible]

令和8年4月の改正道路交通法施行により、自転車利用における規定の交通違反が交通反則切符（青切符）の対象になることを踏まえ、**制度の周知を徹底**するとともに、**法令遵守の重要性を周知啓発**していく必要がある。

意識向上

生活利用・健康プロジェクト

企業等と連携した自転車通勤の促進

- ・自転車通勤のメリット等を紹介する出前講座を市内の企業を対象に募集している。
- ・健康ポイントアプリのお知らせ機能において、自転車通勤に関する情報を掲載した。



▲ 出前講座「自転車通勤のススメ」



活動指標

健康ポイント事業登録者における自転車の1日あたり平均走行距離

【評価：◎】

(km/日)

2.9

4.2

5.2

5.3

5.8

3.3

R2

R3

R4

R5

R6

R7

(基準値)

1日あたり平均走行距離

中間目標値

成果指標

健康のために意識して身体を動かす成人の割合

【評価：△】

(%)

56.2

48.3

63.0

60

55.4

51.2

H29

H30

R1

R2

R3

R4

R5

(基準値)

男性

女性

中間目標値 (男性)

中間目標値 (女性)

5年に1度の調査のため、実績不明

評価

健康ポイント事業登録者に向けて、自転車利用による健康づくりのPRを実施したことで、登録者における自転車の1日あたりの平均走行距離は中間目標値を大幅に上回ったが、**市民の健康づくりに対する意識は中間目標値を下回る結果**となった。

評価に基づく課題

健康づくりに無関心な市民の健康ポイント事業への参加促進を図るとともに、自転車利用による健康面でのメリットの効果的な周知や通勤時の自転車利用の促進など、**自転車を活用した健康づくりを促進し、市民の健康づくりに対する意識向上を図る**必要がある。

10

○ 現行計画の進捗状況について（施策・事業一覧）

柱	基本施策	施策	事業	重点	評価指標
機会づくり	サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト	ジャパンカップサイクルロードレース等の開催	ジャパンカップサイクルロードレース等の開催	◎	【活動指標】 自転車競技・サイクルイベントの開催数 【活動指標】 サイクルツーリズムにおける広域モデルルートの設定数 【成果指標】 自転車競技・サイクルイベントによる経済波及効果（ジャパンカップ）
		ジャパンカップを活用したサイクルスポーツの振興	ジャパンカップを活用したサイクルスポーツの振興	◎	
			森林公園におけるサイクルスポーツを楽しむ環境の整備		
		サイクルスポーツの活動環境の充実	新たなサイクルスポーツ(BMX, MTB等)の利用環境の検討・実施		
			民間主体のサイクルイベント等の誘致・開催		
		サイクルツーリズムの推進	広域モデルルート of 検討・設定	◎	
			市内観光地等における自転車での周遊促進	◎	
			自転車マップ等の作成・配布		
		サイクリストへのサポート体制の充実	サイクリングルート沿線の休憩スポット（自転車の駅等）の充実		
			サイクリストに対する支援策, 支援体制の検討・実施		
		宮サイクルステーションの充実	宮サイクルステーションの施策・事業の充実	◎	
	自転車のまちPRプロジェクト	「自転車のまち宇都宮」のPR	プロスポーツチームや多様なメディアを活用した情報発信	◎	【活動指標】 自転車に関するパブリシティ等の情報掲載件数 【成果指標】 「自転車のまち」の認知度
			宮サイクルステーションの情報発信機能の強化		

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

機会づくり

サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト

ジャパンカップサイクルロードレース等の開催

ジャパンカップを活用したサイクルスポーツの振興

「自転車のまち宇都宮」のブランド力向上に向け、“宇都宮”ジャパンカップサイクルロードレースを開催している。

- ・全日本自転車競技選手権大会シクロクロスを開催している。
- ・市民が身近にサイクルスポーツを親しめる機会を提供するため、宇都宮ジャパンカップのコースを活用した体験イベントを開催した。
⇒ 「サイクリング×ヒルクライム」、「宇都宮ライド」

▶ 宇都宮ジャパンカップの開催



クリテリウム



ロードレース

▼ シクロクロスの開催(R5, R6宇都宮開催)



▶ サイクリング×ヒルクライム



▶ 宇都宮ライド

○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

機会づくり

サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト

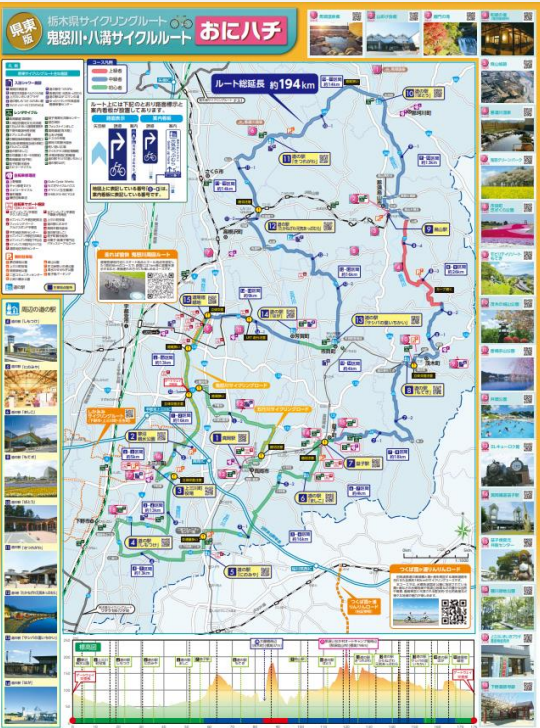
広域モデルルート
の検討・設定

- ・栃木県や関係市町、宇都宮ブリッツェン等が連携し、県内に4つのモデルルートが設定された。
- ・そのうち、県東・県西の2ルートに宇都宮は参画し、環境整備を実施した。

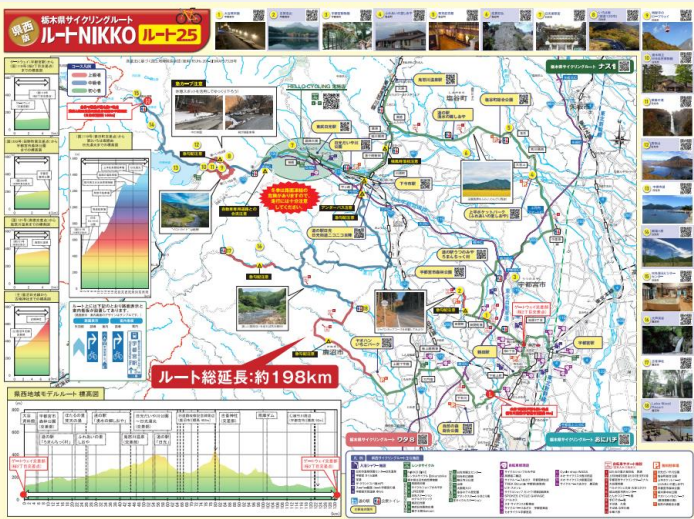
市内観光地等における
自転車での周遊促進

宇都宮ブリッツェンと連携し、宇都宮市森林公園を発着点に北西部地域を巡るサイクリングツアー「宇都宮ライド」を開催した。
【再掲】

▼ 県東ルート(おにハチ)



▼ 県西ルート(ルートNIKKO)



▼ 宇都宮ライド(35名参加)



○ 現行計画の進捗状況について（重点事業）

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

機会づくり

サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト

宮サイクルステーションの
施策・事業の充実

自転車利用の拡大に向け、SNSなどへの情報掲載やロード
バイク導入などによるレンタル機能の強化を実施している。



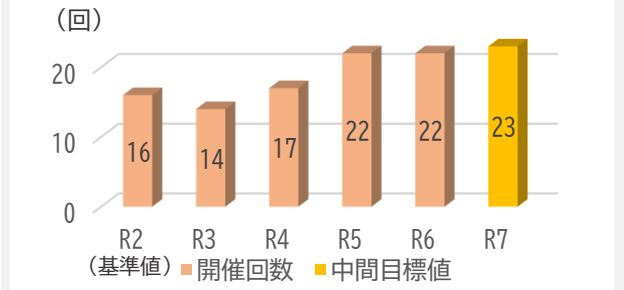
Instagramへの
記事掲載

活動指標

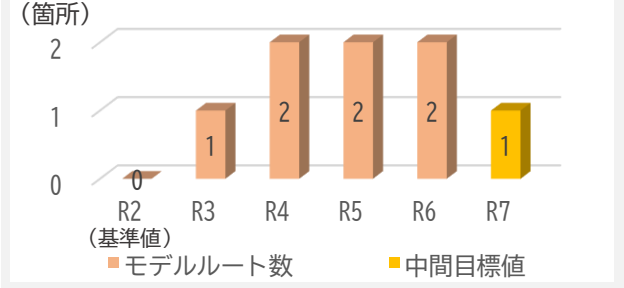
成果指標

評価と課題

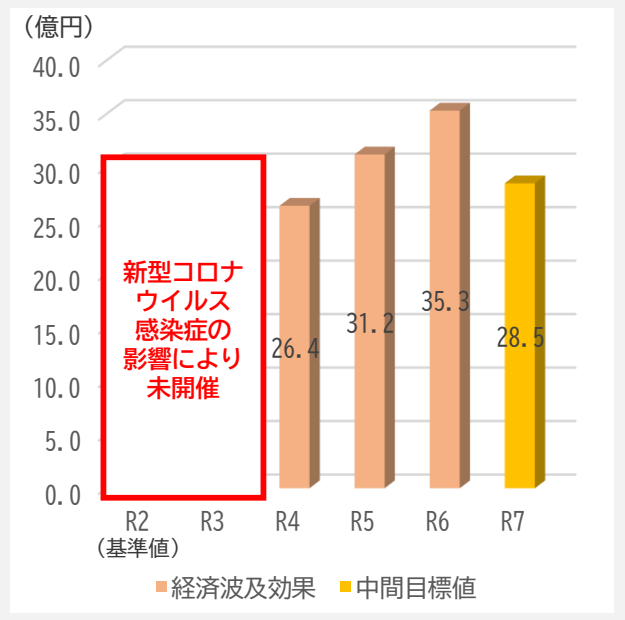
自転車競技・サイクルイベントの開催数 【評価：○】



広域モデルルートの設定数 【評価：◎】



自転車競技・サイクルイベントによる
経済波及効果（ジャパンカップ） 【評価：◎】



・広域モデルルートについては、中間目標を上回り、**“おにハチ”と“ルート25”の2ルートを設定**
・宇都宮ジャパンカップ及びシクロクロスの開催、ならびにジャパンカップに付帯するサイクルイベントの実施により、令和6年度においては、**過去最高の経済波及効果**となるなど計画以上の成果となった。

評価に基づく課題

・ジャパンカップを活用したサイクルイベントの拡充に取り組み、引き続き、**市民が身近にサイクルスポーツに親しめる機会を提供**するとともに、自転車と本市が持つ地域資源や観光資源とを掛け合わせたイベントの実施など、**ジャパンカップ以外のイベントの実施**により、**誰もが自転車を楽しめる機会の充実**を図る必要がある。

